



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	57,913	△19.9	△222	—	1,091	△76.5	△994	—
2020年3月期第2四半期	72,290	△4.3	4,036	△19.4	4,652	△30.7	2,414	△41.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,219百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △349百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△20.26	—
2020年3月期第2四半期	49.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	170,413	81,371	43.5	1,510.43
2020年3月期	166,800	82,019	44.9	1,524.62

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 74,138百万円 2020年3月期 74,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,100	△12.7	1,100	△80.9	3,200	△52.7	100	△96.6	2.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	49,757,821株	2020年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	673,515株	2020年3月期	673,253株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	49,084,469株	2020年3月期2Q	49,085,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済情勢は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、経済活動が制限され、急速な景気悪化となりました。そのような状況の中、各国が感染拡大の防止と経済活動維持の政策を講じた結果、徐々に経済活動に回復の兆しがみられるようになりました。しかし、依然として感染拡大の懸念、米中貿易摩擦の長期化等の影響もあり、先行き不透明な状況が続くと見込まれます。

このような事業環境のもと、当社事業においては特に自動車・建設機械業界向け事業での販売不振の影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は579億13百万円(前年同期比19.9%減)、営業損失は2億22百万円(前年同期は営業利益40億36百万円)、経常利益は10億91百万円(前年同期比76.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は9億94百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益24億14百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、中国市場の比較的早い回復があったものの世界全体では回復が鈍く、自動車向け製品がその影響を広く受けたことにより、当セグメントの売上高は320億81百万円(前年同期比28.3%減)、営業損失は20億61百万円(前年同期は営業利益14億76百万円)となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、インドのロックダウンやアジアパシフィック・日本における顧客の操業縮小・停止等の影響により販売が減少し、当セグメントの売上高は129億54百万円(前年同期比19.9%減)、営業利益は8億84百万円(前年同期比59.1%減)となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、5G、データセンター向け投資などが堅調であったことにより、当セグメントの売上高は41億37百万円(前年同期比26.1%増)、営業損失は78百万円(前年同期は営業損失4億63百万円)となりました。

[舶用業界向け事業]

当事業は、修繕部品が減少したものの、新造船向け販売の採算良化等により、当セグメントの売上高は53億6百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は8億44百万円(前年同期比51.9%増)となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、衛星向け輸入品の販売増加が寄与し、当セグメントの売上高は34億34百万円(前年同期比22.8%増)となりました。営業利益はプロダクトミックス等により1億80百万円(前年同期比38.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第2四半期連結会計期間末の資産は1,704億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億12百万円増加しました。これは主として現金及び預金が84億62百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が15億円、その他流動資産が13億77百万円、有形固定資産が10億88百万円減少したことによるものであります。

[負債]

当第2四半期連結会計期間末の負債は890億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億60百万円増加しました。これは主として短期借入金が増加した一方、買掛金が13億85百万円、電子記録債務が12億19百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は813億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億47百万円減少しました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと及び剰余金の配当等により利益剰余金が22億98百万円減少した一方、為替換算調整勘定が12億34百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年10月21日の「業績予想の修正に関するお知らせ」に公表しました連結業績予想に変更ありません。

新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により、依然として先行き不透明な状況ではありますが、当社グループにおきましては、中長期的な成長を見据えた「環境・省エネ」に資する次世代独自技術製品の開発、「永遠のゼロ」をスローガンとした品質改善活動を継続しながらも、利益確保に向けたTCD(Total Cost Down)活動、ムダ半(ムダの排除～すべてを半分に～)活動を推進するとともに、さらなる固定費削減施策を講じ、通期での黒字確保に努めます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,438	29,901
受取手形及び売掛金	27,152	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	25,651
電子記録債権	3,092	3,046
商品及び製品	7,075	6,739
仕掛品	5,794	6,369
原材料及び貯蔵品	9,699	9,678
その他	6,419	5,042
貸倒引当金	△103	△271
流動資産合計	80,567	86,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,666	23,267
機械装置及び運搬具（純額）	24,755	24,509
その他（純額）	13,512	13,068
有形固定資産合計	61,934	60,846
無形固定資産		
のれん	2,167	1,918
その他	2,467	2,111
無形固定資産合計	4,635	4,029
投資その他の資産		
投資有価証券	11,365	12,085
その他	8,405	7,403
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	19,663	19,380
固定資産合計	86,232	84,256
資産合計	166,800	170,413

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,503	6,117
電子記録債務	3,031	1,811
短期借入金	14,442	20,849
未払法人税等	1,207	765
賞与引当金	2,603	3,185
その他の引当金	1,025	885
その他	11,395	11,626
流動負債合計	41,208	45,242
固定負債		
長期借入金	22,690	23,129
引当金	307	318
退職給付に係る負債	18,890	18,834
その他	1,684	1,516
固定負債合計	43,572	43,799
負債合計	84,780	89,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,310	11,310
利益剰余金	66,745	64,446
自己株式	△225	△225
株主資本合計	88,320	86,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292	329
為替換算調整勘定	△8,095	△6,860
退職給付に係る調整累計額	△5,682	△5,352
その他の包括利益累計額合計	△13,485	△11,883
非支配株主持分	7,184	7,233
純資産合計	82,019	81,371
負債純資産合計	166,800	170,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	72,290	57,913
売上原価	55,202	46,247
売上総利益	17,088	11,666
販売費及び一般管理費	13,051	11,888
営業利益又は営業損失(△)	4,036	△222
営業外収益		
受取利息	114	130
受取配当金	13	10
持分法による投資利益	1,035	1,126
その他	363	604
営業外収益合計	1,526	1,871
営業外費用		
支払利息	200	204
為替差損	562	—
寄付金	0	0
操業休止費用	—	258
その他	146	93
営業外費用合計	910	557
経常利益	4,652	1,091
特別利益		
固定資産売却益	12	0
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産売却損	41	2
固定資産除却損	102	14
特別損失合計	144	17
税金等調整前四半期純利益	4,521	1,075
法人税等	1,280	1,457
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,241	△382
非支配株主に帰属する四半期純利益	826	612
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,414	△994

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,241	△382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	37
為替換算調整勘定	△2,869	905
退職給付に係る調整額	331	357
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,011	302
その他の包括利益合計	△3,590	1,601
四半期包括利益	△349	1,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△925	606
非支配株主に係る四半期包括利益	575	612

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来出荷時に収益を認識しておりました販売の一部について、検取時に収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が281百万円、売上原価は296百万円、営業損失は15百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ15百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は76百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が2021年3月期末まで継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、その一部を取り崩し、法人税等調整額838百万円を計上しました。当第2四半期連結会計期間において、この会計上の見積り及び仮定は変更しておりません。なお、法人税等調整額は、四半期連結損益計算書の法人税等に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	44,744	16,165	3,280	5,304	2,795	72,290	—	72,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	68	—	4	—	143	△143	—
計	44,815	16,234	3,280	5,309	2,795	72,434	△143	72,290
セグメント利益又は損失（△）	1,476	2,163	△463	555	294	4,026	10	4,036

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額10百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	32,081	12,954	4,137	5,306	3,434	57,913	—	57,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63	67	—	1	—	132	△132	—
計	32,145	13,021	4,137	5,307	3,434	58,046	△132	57,913
セグメント利益又は損失（△）	△2,061	884	△78	844	180	△230	7	△222

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。